

23/6/12 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第56回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

12:56 撮影・録音は出席者紹介まで

13:00

岡田：整備室長
挨拶

上田所長：会議に先立ち

6/3 バリアフリー市民討論会で多大なご迷惑深くお詫び
参加者差別発言 不適切な発言
本市の対応の不手際 重大 不徳といたす
被害者のお気持ちを深く傷つけた 謹んで陳謝
要因検証 再発防止
奇禍として事業運営に努める
ご指導をお願いしたい
議事 令和5年度予定など
報告 令和4年度検討内容

岡田：出席者紹介

赤羽遅れる
文化庁 渋谷、平澤、
愛知県 皆見
議事に入る 撮影、録音ここまで
資料の確認
構成員 地図、現状変更許可申請
今から報告 昨年度議題一覧

石山：保存整備室

資料1 開催結果 8回会議
右 部会での検討
下線 令和5年度以降も引き続き検討を進める
資料2, 3頁
石垣7回 建造3回

赤羽：遅れてきてすみません

市民討論会の発言はあったか

岡田：謝罪はした

赤羽：市議会議員ブログ 3/20 あたり 1階以上上げないと決める
それ以降天守閣部会、全体部会 バリアフリー有識者会議あった
そういうのがありながら、なりものいりで国際コンペ
優秀な業者が決まった後1階まで上らない
そこからへんにずれ 信じがたいずれがある気がする
市民討論会内容を見ると、びっくり
ともかく、昇降機1階まで決めておきながら、討論会、部会
不可解 経過についてご説明を頂きたい

上田：委員の方からとある市会議員ブログ

「3月20日に、以前の昇降機の方針が否定された」記述確認した
一方、事実と若干異なる
現時点でも有効
1階まで昇降機設置 最低要求水準 記述されている
1階までに限定して決定している？ 事実とは異なる
様々なご議論 全体整備検討会議含めて先生に頂戴
どういった状況 どこまで昇降設備 議論の途上
現時点で決定したというのは事実と異なる

赤羽：市議会横井ブログを拝見した

実際とは違う
その通りなのか ブログに間違いがあるでよいか

上田：文言の正誤 現時点で言及する段階ではない
表現の内容 市議会議員指摘 確認する必要がある
現時点 決定事項ではない
検討に検討を重ねている

赤羽：承った

岡田：議事に移る 瀬口座長お願い

13:15

瀬口：説明を

石山：資料 2-1

表の見方割愛 時期
城内対象範囲

瀬口：ご質問を

なにもないと寂しい
ニ之丸庭園修復工事 現状変更許可を本日得る
工事もその都度とるとのことですね

石山：そう

瀬口：なければ次議事 2

村木副センター長：資料 3

第 2 章 石垣等遺構 全体のと、石垣部会の指導 大幅に加筆修正

5/28 石垣部会 踏まえて本日出している

2 枚めくる 2-1

現状の把握 天守台石垣とどう関係があるのか

左側 図 2.1.1

石垣保存方針を定める

2 章 全体の中の天守台について

全体ができていない 基本的な考え方

1-1 左側 説明文

2 章 石垣 具体的な保存対策まとめた

石垣評価→必要な対策を検討

2-4 右上

2-6 穴蔵石垣 調査済み

解体修理まで必要は想定していない。

部分補修、部分補強で対応

2 の 8 頁

面として状態が悪い C2 追加工学的検討、対応策

2 の 8 頁 右側の図（案）

13：35

荒川：7 章 2 章のまとめを受け、仮設計画

1-16 モニタリングについて追記した

7章 見直した点

7-2頁 図7.1.5 鶉の首 土嚢設置

S17 ボトルユニット

7章8章 石垣書いた 趣旨は変わらない

8-32頁 スロープ意匠見直し 鉄骨スロープ→鉄骨造 表面に木をはる
階段を直接昇降できれば、積極的に採用する

今日の資料にはないが、大天守垂直昇降技術 地下1階-1階は設置する
バリアフリー対応について、市民の意見を聞く

市民アンケート、討論会

有識者意見をうけて検討する

どこまで設置するのか市の方針が決まったら、報告する

村木：8-41 石垣の活用

保存を行うためにも、石垣研究をすすめる

他の機関との連携を深めたい

13:42

瀬口：2章、7章、8章説明があった

ご意見ご質問を

麓：2章7章8章

1-16 整備スケジュールがある

これまで再三現天守の記録のことが重要

どのように計画しているのか

記録保存についても工程表に反映してほしいと何年も前から申し上げている
一向に取り上げてもらえない

仮説を作る前に、写真を撮らないといけない

仮説を作った上で、足場から写真

解体工事を進めながら、工程にあわせて調査、記録保存

ちゃんと計画を立てないと、正しく記録保存ができない

明らかにしてほしい こういう計画でやる ずっと申し上げている

反映されない

解体が始まって、今のままだと十分な調査、記録保存がされない

記録保存を具体的に計画を

写真撮影 担当者がスナップ程度では不十分

名古屋城 木造天守焼失前 ガラス乾板写真 実測図が残っている

それに準じるように
早く計画を立てて工程表に入れて
一向にでない
次回全体整備にだすとか、明確な答えを伺いたい

荒川：1章 スケジュール表
3章に入れるのか 反映したい

麓：なんども聴いている 次回全体までに 資料を添えて説明を

荒川：はい

瀬口：項目

荒川：3章 記録の保存 個別か検討して対応する

瀬口：両方入れて

小濱：バリアフリー 8章 木仕上げのスロープ
違和感を感じている
一般の入場者 階段を上る
8-33 立面図 一般の人 橋の下をくぐっていく
エントランス 圧迫を受ける
風格を備えたような
スロープが必要なら、一般の入場者をさえぎらないように
階段上げる方法あれば
3.5m 1階分 エレベーター使った方が
エレベーターとスロープ併用して
一般の人の景観 検討して

小鹿主幹：地上-大天守1階バリアフリー
「エレベーターをつける」選択肢を検討した
今スロープを設置する 一番ベストだとして掲げている
バリアフリー対応はスロープで実施したい

小濱：やむをえないならしょうがないが
一般の人を検討を

瀬口：一番ベスト どのような視点かを列記して
 どのような点でいいのか

小鹿：考え自体を書くのか？ 大変失礼ですが、書くべきか宿題としたい

瀬口：質問がわからない
 どのような回答か
 どのような点でベストと認識しているのか

小鹿：これまで様々な意見 車いすを利用する人 スロープであれば
 非常時にもスムーズに避難対応ができる
 スロープで対応させていただきたいと提示した

瀬口：非常時にエレベーターだと避難ができない
 昇降機も同じ
 だからスロープか

小鹿：非常時の対応を含め、エレベーターは非常時に対応できない

小濱：3.5m エレベーターの方が楽
 避難の時に スロープを併用
 階段に沿ってスロープ 急になるかもしれないが

小鹿：先ほど申し上げた繰り返し
 これまでの検討 スロープとした
 エレベーター併用は考えていない

瀬口：説明してほしい

小鹿：現在の検討 小天守前の石段の上 スロープ設置
 難しいということで、今の図 北側にスロープ設置案

瀬口：階段にスロープを置くことができない

小浜：私は不満

瀬口：階段にスロープを置くことができないんですよね

小鹿：さよう

瀬口：2-4 abc

2.1.2

石垣と石垣面

村木：分類が厳密ではない

瀬口：来場者の安全面 石垣面の評価

2-6 石垣面の評価につながる

石垣面、築石 石垣の補修

文化庁の調査官 意見は？ 全体を通してから

軸の修正 説明不足のところ

上手に説明して

内部の昇降技術 市民の意見を踏まえて今後検討

全体整備検討会議に出して

この内容で進めていいか

10分休憩

2:10再開

14:00

14:10

瀬口：議題3

保存整備室 泉：二之丸庭園 修復整備

名古屋城：図石C修正

近世の石

泉：整備案

14:19

瀬口：質問は

麓：石Bが背面の状況 近代に据えられた 理解できる

石そのものを明治期にあらたによそから持ってきたのか
近世から二之丸庭園内にあって場所を変えたのかわかるか

名古屋城：そこまで検討していない
近世から庭園内のどこかから持ってきた可能性が高いが、検討に至っていない

麓：石材がどういうものなのか
近世二之丸庭園 石 B も同じか
ある程度判断材料になるかな
案 3 のルートはいいと思う

村上：麓先生石材
石 B 石 A 溶結凝灰岩の一種
その場に置いておくのはふさわしい

赤羽：石 B 近世改変と思われる
兵舎 証拠あるのか

名古屋城：図 4 権現山
明治期に半分削平 池も埋めた
兵舎のレンガ基礎が出ている
石 B も置いたと考えている

赤羽：権現山の東 スパッと切り取られた
兵舎を作るため
結構西ではないか
理解しづらい
引き続き検討を

名古屋城：ありがとう

瀬口：ほかは
なければ現状変更を求める
範囲がよくわからない
7 頁 ここが現状変更 石が切れている
「この範囲」明示して 資料を作って

泉：6 ページ図 12 黒い線
1 番の石垣 縮尺の関係で入り切れていない

瀬口：どこ

泉：図 12 一番北⑥

瀬口：書いていない？

泉：書いていない

瀬口：わかるようにして
特に修正意見はなかった 現状変更のための許可を進めて
以上で議事 3 つは終わった

岡田：ありがとう
令和 4 年度二之丸庭園の発掘成果調査について

14：30

岩上：調査研究センター
北園地、東御庭
庭園部会で議論している
5 ページ図 7
9 ページ図 11.12

岡田：説明した

村木：今年度調査を補足
昨年度 調査する予定だった
様々な事情で調査できなかった
現状変更出したができなかった 今年度する 報告

岡田：ご意見等あれば

麓：簡単な修正
写真 10 礎石 2 段重なっている 二重門に見える

名古屋城：直す

赤羽：9ページ 調査予定範囲
樹木2本 どんな樹種なのか

名古屋城：大島桜 別の桜
枯死が進んでいる

岡田：本日議題は以上
オブザーバー意見は

渋谷：文化庁の渋谷

たくさんご議論いただいた

資料2-2 特別史跡名古屋城跡 範囲が広い

本丸の事業に耳目が集める

全体の事業も進んでいる

全体を通して議論を進めて

木造天守整備計画 歴史建造物の復元

その下の遺構を守って 上を復元が前提

下の石垣の保存方針を踏まえた形の基本計画 出来上がってきた

ご努力

しっかりと遺構を守った上で整備して

麓先生 タイミングが必要 整備基本計画に書くスケジュールだけでなく

具体的な作業スケジュール

解体スケジュール どの場面ではないと

現在は大まかな年単位のスケジュール

この時点でこれをしないといけない 計画を練ってほしい

岡田：しっかり遺構保存 記録を残しながら進めたい

平澤：資料の作り

今年度、前年度資料示し方を示してきた

わかりやすくなった

名古屋城の議論を進めていただいた

変遷する社会の中で名古屋城跡 歴史や文化をどう将来に引き継ぐか

継続して議論は重要

現天守 記録保存

木造天守の再現 大きな事業
それが全体として事業内容関係してくる
現在立っている天守にも歴史と文化が刻まれている
同じ場所に再建を検討しようとしている
同時には存在できない
苦渋の決断 現天守を解体せざるを得ない
事業の全体像を考えて、おおまかなスケジュール
相当細かい手順 これから検討
もっとこういうことが必要
具体的なことが出てくれば、いろんな議論が出てくる
名古屋城の歴史文化をどう伝えていくか
遺構保存、できたものをどう見せるか
を超えて、事業そのものをどう見せるか
プラン、デザイン 統合的に取り組んでいくか
相当事務局にご努力されてきた
この全体会議 引き続き 全体性での観点 ご議論ご鞭撻を
繰り返しになるが、基本計画ができたといって、
ままだにやらないといけないわけではない
ベースにしてさらに検討
修正すべき方向性もあるかもしれない
いろんな事情が出てくる
なかで細かく検討していけば
よろしく

岡田：よろしく

皆見：愛知県

ありがとう
文化財保存の観点 遺構を必要以上に改変せず
だれもが名古屋城を訪れ、特別史跡のすばらしさを感じれるように
活発なご議論 様々な人と話しあい
保存と活用が図られるように

岡田：ありがとう

あらためて感謝
以上で終わり
14：47